平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田　純一			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	引き続き、未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。
②①に基づく取組み結果	柵の改修など環境整備等を行い、利用者の利便性の向上に取り組んだ。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民	意図（対象をどうするのか）	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要		市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		都市化が進む中で、農業と市民が触れ合う貴重な機会として需要があり、今後も継続して利用希望があると予想される。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	171区画中、154区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	市民農園の利用区画数	151	151	154	区画	業務取得
ii	巡回時の農業士への相談件数	14	27	11	件	業務取得
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	3,292	3,058			2,835
国支出金（千円）			2,797	市民農園用地借上料	
県支出金（千円）			261	市民農園柵改修工事	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	3,292	3,058			2,835

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	未利用区画が発生している。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	未利用区画を無くすための方策を検討する必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H28からの繰越
③達成状況				H28⇒29繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	果樹剪定枝等堆肥化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田　純一			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	堆肥化以外の手法として、バイオマスへの活用について、検証を行う。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	バイオマス発電への活用について引き続き精査し、事業の移行についても検討を行う。
②①に基づく取組み結果	試験的に、回収した剪定枝の一部をバイオマス発電に活用し、売電収入を得た。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	果樹剪定枝等	意図（対象をどうするのか）	堆肥化する。
②事務事業の概要		果樹剪定枝等を原料とした堆肥を生産する。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		平成26年度から「鎌ケ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が当該事業を引き継ぎ、堆肥の販売を行うとともに、バイオマス発電への活用について検証する。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	平成28年度回収分のうち約217tの堆肥化を進め、約108tをバイオマス発電に活用した。また、市民向けに堆肥を約13t販売し、12，540円の販売収入を得た。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	梨剪定枝回収量	679	679	904	㎥	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	6,071	8,924			8,924
国支出金（千円）			1,553	果樹剪定枝等堆肥化事業用地借上料	
県支出金（千円）			7,371	果樹剪定枝等リサイクル事業負担金	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	6,071	8,924			8,924

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	近年、果樹剪定枝の排出量の増加が顕著化している。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画	借地料及び負担金	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	借地料及び負担金を支出	8,924	8,924	当初	8,924	8,924	H28からの繰越
③達成状況	完了			H28⇒29繰越			現年分 8,924
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				

平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	インターネット梨販売事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	4	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田　純一			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	－	③平成30年度に取組む改革・改善内容	販売品種の増加、購入上限の撤廃、新たな販促イベント等の実施など、販売箱数増加に向けた取り組みを行う。
②①に基づく取組み結果	－		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	関東圏外の人	意図（対象をどうするのか）	梨の販売
②事務事業の概要	関東圏外に限定し、梨のインターネット販売を行う梨農家に対して、補助金を交付する。また、販路拡大のため、PR等を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	平成32年度までは、「地方創生推進交付金」を活用した事業として実施することを予定している。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：梨のインターネット販売において、豊水5kg箱を1，649箱販売した。また、販売を促進するために、羽田空港でPRイベントを開催した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	ケ谷産の梨のインターネット販売	3,150	4,200	3,958	千円	業務取得
ii	認定農業者数	44	50	53	人	業務取得
iii	新規就農者数	0	4	3	人	業務取得

③事務事業のコスト

	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成30年度予算
事業費（千円）	0	5,410			4,632
国支出金（千円）		2,683	3,359	インターネット梨販売に係る補助金	2,316
県支出金（千円）			998	市特産品販売に係る補助金	
市債その他（千円）			580	羽田空港PRイベント業務委託	
一般財源（千円）		2,727			2,316

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	事業者が自立して取り組むための体制を構築する必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	インターネット販売により販路拡大、販売促進を図り「鎌ケ谷の梨」のブランド力の増加に寄与するため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
		計画事業費	予算額			決算額	
①平成29年度の計画	補助金、ポスター作成等	6,594	6,594	当初	6,594	5,410	H28からの繰越
②計画に対する事業実績	補助金の交付、ポスター作成			H28⇒29繰越			現年分 5,410
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）	0				